

moshi moshi

1999 Vol.9

お医者さんと上手にコミュニケーションしましょ

特集：「ステロイドは使いたくない」



いまお母さんが共通して恐れていることは「アトピーです」と診断されることのように。ひどい症状に長く苦しむ親子を身近に見ていることや、科学的な裏づけのない「ステロイドを否定する諸説」がちまたにあふれているためでないかと思うのです。

ロート胸

胸骨が内側に曲がっているために胸がへこんでいる先天的な形態異常。ロートとはじょうごのことで、胸のへこみがじょうごのようであることからついた名前。同一家系に出ることからなりやすい素因が遺伝するとも考えられている。しかし形態の問題だけで、生活上に問題が出ることはまずない。心臓が圧迫されて苦しくなるなどは考えられない。だから手術は美容的な立場から考えるが、肋骨をとって裏返す、へこんだところにシリコンを入れるなど簡単な手術であるうえ、あとが残るのであまり行なわれない。



尿道下裂

男の子の場合、おしっこが出るところはペニスの先端に開いているが、それがペニスの途中やつけ根などに開いていることがある。これが尿道下裂。先天性奇形のひとつ。多くはペニスが下向きに曲がっていてもいい。ひどいものは一見女性性器のように見えるものもある。手術は2回に分け、まずはペニスをまっすぐにし、次には尿道口が上部になるよう尿道を作る手術をする。軽いものであれば、3才前にできる。これがあるとおしっこが飛ばないなどで、集団生活になると劣等感にもつながるのでその前に手術することが多い。

この小冊子の内容は「医師による発育・発達・病気の電話相談」からの内容を抜粋したものです。

03-3219-0797 毎週水曜日 14時～17時に受けつけています

監修

横田俊一郎先生（横田小児科医院院長）

構成／泉美智子 イラスト・レイアウト／いとうやすこ

アトピーだけど、ステロイドはいや



症状や検査でアトピーと診断されました。
でもステロイドは絶対使いたくないのです。
情報誌にステロイドは危険とあったから。
—1才5か月のMくんのママとの電話相談から—



先生 ● それほどひどくないのですか。
すくひといんです。生後すぐから湿疹があり、ジクジクして汁がたれるほど。血液検査でも卵白、ミルク、小麦、大豆、ダニなどに高い反応を示しているため、ステロイド中心の治療といわれました。
先生 ● いろいろな食べ物に反応が出ているのですね。実際に食べて症状が悪化することもありますか。
— 大人の食べ物を与えて肌がかさかにひどい状態になったこともあります。

先生 ● そうであればやはりステロイドでの治療が必要なのではないでしょうか。この場合、私でもステロイド治療をすすめると思いますよ。
先生 ● 炎症をとるうえでステロイドというのが医師の間では定説ですし、重いものはステロイドを使わないと治療は不可能とさえいわれているのですが。
— それを鵜呑みにしてよいのか……。

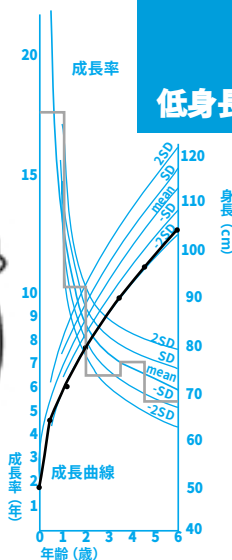
先生 ● 医師は科学者ですからいろいろな研究論文を集めて学び、それによって治療しているのです。
でも、ステロイドは失明するというわけありませんか。
先生 ● ひどいアトピーであるために失明している例もあり、この問題は薬の副作用かアトピーそのものによるのかははっきり結論は出ていません。
— それならやはり安全な民間療法でいきたい……。

先生 ● ステロイドを否定する説は今までにも数多くあり、民間療法などいろいろあるようですが、いずれも科学性がなく、実際に長く残ってもないようです。お子さんのためにもかかりつけの先生とよく話し合ってみてください。

ソマトメジンCが低い。外来検査だけで不安

Q 6才1か月の男の子で、103.8cm。すでに検査を受けていますが、4才8か月でソマトメジンC (IGF-1:インシュリン様成長因子-1) が85、骨年齢は4才半、5才半のソマトメジンCは110でした。父親が158cmで母親は156cm。毎回外来検査ですが、これでも入院検査はできないのでしょうか。

A ソマトメジンCというのは成長ホルモンが肝臓に働いて作る成長因子で、成長ホルモンの分泌をみる手がかりになるものですが、栄養の影響も受けるので食が細い子は低めの値を示します。お子さんの数値は下限値ですが、1才以降の年間の伸びが正常範囲なので半年に1回、専門医で今後の成長をみてもらえばよいでしょう。今後成長率が落ちて検査結果に不安がみられた場合には入院検査となります。お父さんが少し小柄。残念ながら小柄の家系の子は小柄に経過してしまうことが多いのですが、小柄なりに育っているのだから、あまり考えすぎないほうがよいですね。



発達

低身長
よだれと不明瞭な発音

4才でよだれ。発音もはっきりせず。手も不器用

Q 言葉はたくさん出ていますし、理解力はあるのですが、発音がはっきりしないし、することが不器用。いちばんの心配は、ちょうど4才になったのにまだよだれが出ていることです。この子は小さいときから物をなめない子で、それとも不思議だと思っていたのですが、何か関係があるのでしょうか。

A 4才でよだれをたらず子はほかにもいますから、よだれだけで心配することはありません。小さいときから物をなめないなどから、口動きが上手ではないので、都合よくよだれが飲み込まずに出てくるということでしょう。発音が悪いのも一連のことかもしれません。しかし、言葉もたくさん出ていて、理解力もあるということですから、知的の問題ではないでしょう。発達には常にバランスよくとはいきません。むりに訓練などせず、ほめてやる気を起こさせることでいいでしょう。

